

## 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>112,060</b>	<b>流動負債</b>	<b>32,279</b>
現金及び預金	45,752	買掛金	11,652
売掛金	32,281	未払金	10,597
商品及び製品	1,253	未払費用	726
貯蔵品	39	未払法人税等	2,711
コンテンツ制作勘定	25,819	未払消費税等	1,253
前渡金	540	前受金	3,647
前払費用	347	預り金	284
未収入金	157	賞与引当金	1,078
繰延税金資産	5,185	返品調整引当金	307
その他	732	その他	20
貸倒引当金	△50	<b>固定負債</b>	<b>5,861</b>
<b>固定資産</b>	<b>9,719</b>	関係会社長期借入金	2,000
<b>有形固定資産</b>	<b>5,213</b>	退職給付引当金	2,157
建物	2,942	資産除去債務	1,697
工具器具備品	2,223	その他	5
その他	47	<b>負債合計</b>	<b>38,141</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>792</b>	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	754	<b>株主資本</b>	<b>83,639</b>
その他	38	資本金	1,500
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,714</b>	資本剰余金	66,550
投資有価証券	0	その他資本剰余金	66,550
関係会社株式	30	<b>利益剰余金</b>	<b>15,589</b>
差入保証金	1,615	利益準備金	143
破産更生債権等	19	その他利益剰余金	15,445
繰延税金資産	898	繰越利益剰余金	15,445
その他	1,169	<b>純資産合計</b>	<b>83,639</b>
貸倒引当金	△18	<b>負債・純資産合計</b>	<b>121,780</b>
<b>資産合計</b>	<b>121,780</b>		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損 益 計 算 書

(平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		138,181
売上原価		69,744
売上総利益		68,436
返品調整引当金戻入額		346
返品調整引当金繰入額		307
差引売上総利益		68,475
販売費及び一般管理費		41,811
営業利益		26,664
営業外収益		
受取利息	10	
業務受託収入	207	
補助金収入	495	
雑収入	125	838
営業外費用		
支払利息	24	
為替差損	1,071	
賃借料	44	
雑損失	3	1,142
経常利益		26,359
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	19	19
税引前当期純利益		26,340
法人税、住民税及び事業税	8,023	
法人税等調整額	△ 1,279	6,744
当期純利益		19,596

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

（平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株 主 資 本							純資産合計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金			株 主 資 本 合 計	
		その他資本 剰 余 金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その他利益 剰 余 金 繰越利益 剰 余 金	利益剰余金 合 計		
当 期 首 残 高	1,500	66,550	66,550	143	△ 4,150	△ 4,006	64,043	64,043
当 期 変 動 額								
当 期 純 利 益					19,596	19,596	19,596	19,596
当 期 変 動 額 合 計	-	-	-	-	19,596	19,596	19,596	19,596
当 期 末 残 高	1,500	66,550	66,550	143	15,445	15,589	83,639	83,639

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### イ. 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 子会社及び関連会社株式 移動平均法による原価法
- ② その他有価証券  
時価のないもの 移動平均法による原価法

##### ロ. たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）によっております。

- ① 商品及び製品 月別総平均法による原価法
- ② コンテンツ制作勘定 個別法による原価法
- ③ 貯蔵品 最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15～24年
建物附属設備	3～18年
工具器具備品	2～20年

##### ② 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法、商標権は10年間の定額法を採用しております。

#### (3) 重要な引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### ② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 返品調整引当金

出版物の返品による損失に備えるため、当事業年度以前の実績に基づき必要額を計上しております。また、ゲームソフト等の返品による損失に備えるため、タイトル毎に将来の返品の可能性を勘案して、返品損失の見込額を計上しております。

④ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は以下のとおりです。

イ. 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

ロ. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異については、発生の翌事業年度に一括費用処理することとしております。過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（1年）による按分額を費用処理しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ① 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。
- ② 連結納税制度の適用 当事業年度より、連結納税制度を適用しております。

**2. 表示方法の変更に関する注記**

(損益計算書)

前事業年度において、営業外収益の「雑収入」に含めて表示しておりました「補助金収入」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より区分掲記しております。

なお、前事業年度の「補助金収入」は17百円であります。

**3. 会計上の見積りの変更に関する注記**

(資産除去債務の見積りの変更)

当事業年度において、新たな情報の入手に伴い、オフィスビルの退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

この変更により、当事業年度の減価償却費が66百万円増加し、営業利益、経常利益、税引前当期純利益が同額減少しております。

#### 4. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 7,212百万円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び債務は次のとおりであります。

(区分掲記されているものを除く)

① 短期金銭債権	13百万円
② 長期金銭債権	1,575百万円
③ 短期金銭債務	5,450百万円
④ 長期金銭債務	5百万円

#### 5. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

① 売上高	11百万円
② 仕入高等	1,555百万円
③ その他営業費用	548百万円
④ 営業取引以外の取引高	43百万円

#### 6. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

普通株式 30,000株

(2) 剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

## 7. 税効果会計に関する注記

### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産の発生の主な原因は、未払事業税否認、賞与引当金否認、退職給付引当金超過額否認、資産除去債務否認及びコンテンツ評価損否認であります。

### (2) 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月29日に国会で成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は前事業年度の計算において使用した32.30%から、平成28年4月1日に開始する事業年度及び平成29年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.62%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は291百万円減少し、法人税等調整額が291百万円増加しております。

## 8. リースにより使用する固定資産に関する注記

該当事項はありません。

## 9. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、資金調達については親会社である株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスからの出資及び借入によっております。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、販売管理規程に取引の開始及び与信管理に関する規定を設け、リスク低減を図っております。未収入金及び差入保証金に係る取引先の信用リスクは、取引先の信用状況を継続的にモニターすることにより、リスク低減を図っております。なお、差入保証金は、主に本社及び事業所の社屋の賃借に伴う差入保証金であります。

買掛金は、1年以内の支払期日の営業債務であります。買掛金、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等及び預り金に関する決済時の流動性リスクは、毎月資金繰計画を見直す等の方法によりリスクを回避しております。



関係会社長期借入金は、平成22年3月の株式会社タイトーソフトの吸収合併により受け入れたものであり、親会社の株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスからの借入であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	45,752	45,752	—
(2) 売掛金	32,281		
貸倒引当金 (*)	△50		
売掛金 (純額)	32,231	32,231	—
(3) 未収入金	157	157	—
(4) 差入保証金	1,615	1,600	△15
(5) 破産更生債権等	19		
貸倒引当金 (*)	△18		
破産更生債権等 (純額)	0	0	—
(6) 買掛金	11,652	11,652	—
(7) 未払金	10,597	10,597	—
(8) 未払費用	726	726	—
(9) 未払法人税等	2,711	2,711	—
(10) 未払消費税等	1,253	1,253	—
(11) 預り金	284	284	—
(12) 関係会社長期借入金	2,000	2,000	—

(\*) 売掛金・破産更生債権等に対応する貸倒引当金を控除しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、並びに(3) 未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 差入保証金

差入保証金の時価は、差入額を返還までの期間及び差入先の信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(5) 破産更生債権等

破産更生債権等は、回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

(6) 買掛金、(7) 未払金、(8) 未払費用、(9) 未払法人税等、(10) 未払消費税等及び(11) 預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(12) 関係会社長期借入金

関係会社長期借入金は変動金利によるものであり、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。

(注) 2. 当社が保有する投資有価証券（貸借対照表計上額0百万円）及び関係会社株式（貸借対照表計上額30百万円）はすべて非上場株式であり、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

10. 賃貸等不動産に関する注記

開示すべき重要な事項はありません。

## 11. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 親会社

属性	会社等の名称	資本金又は出資金 (百万円)	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
				役員の兼任 等				
親会社	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	23,753	被所有 100	有り	借入金の返済  利息の支払	3,000  24	関係会社長期 借入金	2,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 借入金の利率は、市場金利を勘案して合理的に決定しております。

### (2) 兄弟会社等

属性	会社等の名称	資本金又は出資金	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
				役員の兼任 等				
親会社の 子会社	SQUARE ENIX, INC.	10百万 米ドル	—	無し	ロイヤリティ 収入	11,348	売掛金	7,244
親会社の 子会社	SQUARE ENIX (2009) LTD.	3百万 英ポンド	—	無し	ロイヤリティ 収入	1,886	売掛金	8,997
親会社の 子会社	SQUARE ENIX LTD.	111百万 英ポンド	—	無し	商品等の売上 ロイヤリティ 原価 業務委託費用	475 1,204 864	売掛金 買掛金 未払金	1,633 1,786 2,099
親会社の 子会社	株式会社 タイトー	1,500 百万円	—	有り	業務受託収入	177	未収入金	17

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 親会社の子会社との取引については、一般取引と同様、市場価格等に基づき交渉の上、決定しております。

**12. 1株当たり情報に関する注記**

(1) 1株当たり純資産額	2,787,995円21銭
(2) 1株当たり当期純利益	653,209円97銭

**13. 重要な後発事象に関する注記**

該当事項はありません。

**14. その他の注記**

該当事項はありません。